

兵庫県に生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物リスト(ブラックリスト)(2010)

(維管束植物) - 対策を優先して行うことを推奨するもの

No	科名	和名	学名	ランク	定着 ：定着の怖れが高いもの ：定着 ：警戒種	国指定 ：特定外来生物(要注 意外来生物)	本県での影響											分布 ：古い記録、不確実な情報、可能性高いもの	影響を及ぼすフィールド							備考	
							生物多様性への影響			産業影響				人への影響					池沼・湖沼	河川・水路(河川敷含む)	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸	草地		森林
1	アカウキクサ	アゾラ・クリスタータ(アメリカオオアカウキクサ)	<i>Azolla cristata</i>	Z		特定																					絶滅危惧種に指定されている在来種のアカウキクサとオオアカウキクサに対する競合・駆逐の影響が危惧される。人為交雑では属内で雑種を形成することが確認されており、絶滅危惧種の遺伝的攪乱が危惧されている。
2	ウリ	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i> L.	Z		特定																					河川敷や放棄畑、荒地で大群落を形成し、在来植生に大きな影響を与える。
3	ヒユ	ナガエツルノゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides</i> Griseb.	Z		特定																					池沼、河川で群落を形成し、在来植生と競合したり、水流を阻害して在来の水生生物の生活を阻害するとされる。
4	マメ	ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i> L.	Z		要注意																					県内の多数の河川の河川敷で優占群落を形成している。また、森林に侵入して在来群落の成立を阻害する。
5	セリ	ブラジルチドメグサ	<i>Hydrocotyle ranunculoides</i> L.f.	Z		特定																					水面に浮遊して密なマット状に群生するので、光などが奪われて在来の水草類が駆逐されるとともに、水中の溶存酸素の減少により水生生物の生息環境が奪われるおそれが指摘されている。貧栄養の水系でも生育できるので、希少種の生育を脅かす可能性も高いとされている。
6	アリトウグサ	オオフサモ	<i>Myriophyllum brasilense</i> Cambess.	Z		特定																					大繁茂する傾向があり、水流を妨げたり、在来種への影響が大きい。
7	ゴマノハグサ	オオカワヂシャ	<i>Veronica angallis-aquatica</i> L.	Z		特定																					準絶滅危惧種に指定されている近縁の在来種カワヂシャと交雑して雑種ホナガカワヂシャを形成し、その雑種は発芽能力のある種子を生産することが、野外観察及び人為交配実験から確認されており、在来種の遺伝的攪乱が生じている。重要湿地への侵入の危険が大きい。

(維管束植物) - 対策を優先して行うことを推奨するもの

No	科名	和名	学名	ランク	定着	国指定 状況 要 注意 (特定外来生物 要 注意 (要 注意 外来生物))	本県での影響											分布 :古い記録、 不確実な情報、 可能性高いもの	影響を及ぼすフィールド						備考				
							生物多様性 への影響			産業影響				人への 影響					池沼・湖沼	河川・水路 (河川敷含む)	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸		草地	森林	市街地	
Z	Y	注意 警戒種	競争、捕食、駆逐など	交雑による遺伝的攪乱	在来生物への病原菌、 寄生虫などの媒介	生態系基盤の 変化	農業への影響	林業への影響	漁業への影響	利水・治水障害	景観への影響	人への健康被害	人への直接被害	神戸・阪神	播磨東部	播磨西部	但馬	丹波							淡路				河川・水路 (河川敷含む)
8	キク	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i> L.	Z		要注意																							河川敷や法面で優占群落を形成し、河原の固有種を含む在来種との競争や駆逐のおそれがある。花粉症のアレルゲンとして、人への健康被害もある。
9	キク	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i> L.	Z		特定																							長野県や岐阜県では、河川敷固有の植物に大きな影響を与えていることが確認されている。強靱な性質の種で、法面で優占群落を形成し、在来生態系への影響が大きい。
10	キク	ミズヒマワリ	<i>Gymnocoronis spilanthoides</i> (D. Don) DC.	Z		特定																							水路や湿地の在来種を駆逐し、生態系に深刻な影響を及ぼす種として知られており、警戒が必要である。武庫川で侵入が確認されている。
11	キク	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i> Poir.	Z		特定																							淡路島など県南部の海岸や道路法面、内陸造成地等を中心に侵入している。分布を拡大しており、在来種と競争するおそれがある。
12	トチカガミ	オオカナダモ	<i>Egeria densa</i> Planch.	Z		要注意																							クロモ等の在来の水生植物と競合し駆逐している。既に広範囲に蔓延しているが、大量に利用されているため規制による大量遺棄のおそれもある。
13	サトイモ	ポタンウキクサ	<i>Pistia stratiotes</i> L. var. <i>cuneata</i> Engler	Z		特定																							浮遊性の水草で、水面を覆い尽くして光を遮ることで、他の植物の光合成を阻害することが指摘されている。トチカガミ群落が消滅寸前に追い込まれるなど、在来植物の生育を脅かしていることが指摘されている。
14	ミズアオイ	ホテアアオイ	<i>Eichhornia crassipes</i> (Mart.) Solms-Laub.	Z		要注意																							既に各地の湖沼等で野生化している浮遊性の水草で、水面を覆い尽くし光を遮ることで在来の水生植物の生存を脅かすとともに、アレロパシー作用等を通じて水生生物全体へ影響するおそれがある。大量に利用されているため規制による大量遺棄のおそれがある。
15	イネ	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i> (Schrud.) Nees	Z		要注意																							耐暑性と耐旱性に優れ、土壌侵食防止力が強い。ため、法面緑化などに全国で広く用いられている。河川低水敷に優占し砂を堆積することで、在来植物との競争・駆逐や、生育環境の改変が生じている場合がある。

(維管束植物) - 緑化利用により影響の拡大が懸念されるもの

No	科名	和名	学名	ランク	定着	国の指定状況	本県での影響										分布 :古い記録、不確実な情報、可能性高いもの	影響を及ぼすフィールド	備考														
							生物多様性への影響			産業影響				人への影響																			
				Z Y 警戒種	定着 :定着の怖れが高いもの	特定外来生物 要注意(要注意外来生物)	競争、捕食、駆逐など	交雑による遺伝的攪乱	在来生物などの病原菌、寄生虫などの媒介	生態系基盤の改変	農業への影響	林業への影響	漁業への影響	利水・治水障害	景観への影響	人への健康被害	人への直接被害	神戸・阪神	播磨東部	播磨西部	但馬	丹波	淡路	池沼・湖沼	河川・水路(河川敷含む)	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸	草地	森林	市街地	
16	タデ	イタドリ (県外産・国外産)	<i>Reynoutria japonica</i>	Z																													法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。
17	マメ	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i> L.	Z		要注意																											河川敷などに侵入・定着し群落を形成し、在来植生に影響を与えている。自然性の高い地域への侵入事例も知られていることから、そうした地域での法面緑化には注意が必要である。河川堤防法面、道路法面に導入されたものが分布拡大している。
18	マメ	コマツナギ (県外産・国外産)	<i>Indigofera</i> sp.	Z																													法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。
19	マメ	マルバハギ (県外産・国外産)	<i>Lespedeza cyrtobotrya</i>	Z																													法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。
20	マメ	カラメドハギ (県外産・国外産)	<i>Lespedeza juncea</i> Pers.	Z																													法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。
21	モクセイ	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i> Ait.	Z		要注意																											移植が容易で生長が速く、大気汚染に強いことなどから、街路樹や公園樹等として広く利用されている。河川敷に優占群落を形成したり、森林で定着し、低木層を優占することもあり、種子供給源が県下に多数あるため、注意が必要。道路法面等にも侵入している。
22	カバノキ	ヤマハンノキ (県外産・国外産)	<i>Alnus hirsuta</i>	Z																													法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。
23	カバノキ	ヒメヤシャブシ (県外産・国外産)	<i>Alnus pendula</i>	Z																													法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。

(維管束植物) - 緑化利用により影響の拡大が懸念されるもの

No	科名	和名	学名	ランク	定着	国の指定状況	本県での影響												分布 :古い記録、不確実な情報、可能性高いもの	影響を及ぼすフィールド	備考												
							生物多様性への影響			産業影響			人への影響			河川・水路(河川敷含む)	池沼・湖沼	水田・畑地				湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸	草地	森林	市街地						
Z	Y	注意種	特定(特定外来生物)	要注意(要注意外来生物)	競争、捕食、駆逐など	在来生物への病原菌、寄生虫などの媒介	生態系基盤の改変	農業への影響	林業への影響	漁業への影響	利水・治水障害	景観への影響	人への健康被害	人への直接被害	神戸・阪神				播磨東部	播磨西部	但馬							丹波	淡路	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸
24	カバノキ	オオバヤシャブシ (県外産・国外産)	<i>Alnus sieboldiana</i>	Z																													法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。
25	トウダイグサ	ナンキンハゼ	<i>Sapium sebiferum</i> Roxb.	Z																												植栽木より逸出し、河川敷や林内に定着しており、優占群落を形成する可能性が高い。	
26	フジウツギ	フサフジウツギ(ニシキフジウツギ)	<i>Buddleja davidii</i> Franch.	Z																												山地の崩壊地や道路法面で優占群落を形成し、分布拡大している。	
27	キク	ヨモギ (県外産・国外産)	<i>Artemisia princeps</i>	Z																												法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。	
28	キク	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i> L. var. <i>laciniata</i>	Z		特定																										寒さや湿地に強く、盛んに繁殖する性質を持つ種である。貴重な湿原植物で在来の重要種の減少を引き起こしている事例が知られている。また、いったん侵入すると毎年刈り取っても、根絶は不可能とされているため、要注意である。	
29	イネ	カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i> L.	Z		要注意																										耐陰性などの様々な環境耐性を持つため、牧草や緑化植物として全国で広く用いられているが、自然性の高い環境や希少種の生育環境に侵入し、問題になっている。道路法面・河川堤防法面などで優占群落化している。	
30	イネ	チガヤ (県外産・国外産)	<i>Imperata cylindrica</i>	Z																												法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。	
31	イネ	ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i> Lam.	Z																												河川敷および堤防・道路・法面で優占群落化する。花粉症の原因にもなっている。県下の多数の河川で定着している。	
32	イネ	ススキ (県外産・国外産)	<i>Miscanthus sinensis</i>	Z																												法面緑化に使用される外国産(兵庫県外産)の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的攪乱が危惧される。	

(維管束植物) - 緑化利用により影響の拡大が懸念されるもの

No	科名	和名	学名	ランク	定着	国指定 の状況 (特定外来生物 要注意(要注意外来生物) ：定着の怖れが高いもの ：定着 ：警戒種)	本県での影響												分布 ：古い記録、 不確実な情報、 可能性高いもの	影響を及ぼすフィールド						備考
							生物多様性 への影響			産業影響					人への 影響					河川・水路 (河川敷含む)	池沼・湖沼	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸	
33	スイレン	セイヨウスイレン(スイレン園芸品種含む)	<i>Nymphaea hybrida</i> Hort.	Y																						公園や人家に近い池などに広く分布している。水面を覆い尽くし、在来の水生植物を駆逐するおそれがある。
34	メギ	ヒラギナンテン	<i>Mahonia japonica</i>	Y																						森林内に侵入し、在来の下層植生に影響を与える可能性がある。
35	アオイ	ケナフ	<i>Hibiscus cannabinus</i> L.	Y																						成長が速く、収穫できる繊維も多いため、木材パルプの代替資源として注目を浴びるようになった。強い繁殖力を持つことなどの点で、セイタカアワダチソウなどのように一度野外に定着すると駆除が困難になるおそれもある。人為的な播き出しは防止すべきである。
36	バラ	ピラカンサ類(タチバナモドキ、トキワサンザシ、カザンデマリなど)	<i>Pyracantha</i> spp.	Y																						河川敷で林縁部に定着し、一部県外地域で優占群落を形成することが知られている。植栽が多く逸出の頻度が高いため注意を要する。
37	マメ	ハリエニシダ	<i>Ulex europaeus</i> L.	Y		要注意																				侵入すれば、河川堤防や道路法面で優占群落化のおそれがある。
38	ニガキ	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i> (Mill.) Swingle	Y																						市街地の路傍、中央分離帯に多数侵入している。河川敷で優占群落を形成し、森林林縁部にも侵入している。ルートサッカー(根から「ひこばえ」が発生する)のため面積拡大しやすい性質をもつため、要注意。
39	モクセイ	セイヨウイボタ(ヨウシュイボタ)	<i>Ligustrum vulgare</i>	Y																						夏緑林下や道路法面で定着している。隣接する植栽地からの逸出もみられ要注意である。
40	クルミ	シナサワグルミ	<i>Pterocarya stenoptera</i> DC.	Y																						河川の流水縁に定着し、列状に分布する。
41	クマツツラ	ヒメイワダレ	<i>Phyla incisa</i> Small	Y																						栄養繁殖が旺盛で、優占群落化が懸念される。今後の影響が危ぶまれる。

(維管束植物) - 影響は甚大であるが、駆除が困難なことから、やむを得ず対策の優先順位を低く設定したもの(県内の現状及び全国的傾向から判断しYランクとしたもの)

No	科名	和名	学名	ランク	定着	国の指定状況	本県での影響													分布 :古い記録、不確実な情報、可能性高いもの	影響を及ぼすフィールド							備考					
							生物多様性への影響	産業影響				人への影響		河川・水路(河川敷含む)	池沼・湖沼	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸		草地	森林	市街地										
42	セリ	ウチワゼニグサ	<i>Hydrocotyle verticillata</i> Thunb. var. <i>triradiata</i> (A.Rich.) Fernald	Y			競争、捕食、駆逐など	交雑による遺伝的攪乱	在来生物などの病原菌、寄生虫などの媒介	生態系基盤の改変	農業への影響	林業への影響	漁業への影響	利水・治水障害	景観への影響	人への健康被害	人への直接被害	神戸・阪神	播磨東部	播磨西部	但馬	丹波	淡路	河川・水路(河川敷含む)	池沼・湖沼	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸	草地	森林	市街地	特定外来生物に指定されているブラジルチドメグサと同属の種で、水草として人気が高く、逸出の危険性が高い。野生化した場所では旺盛に繁茂し、在来の水生植物に深刻な影響を与えるおそれがある。
43	アカバナ	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i> Hill var. <i>laciniata</i>	Y		要注意																											砂浜や河川敷に侵入するため、そうした環境に特異的な在来植物への競争・駆逐のおそれがある。
44	クマツヅラ	アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i> Vell.	Y																													河川敷で優占する。
45	キク	クワイモ	<i>Helianthus tuberosus</i> L.	Y		要注意																											既に広く野生化しており、河川では、河川敷固有の在来種等と競争・駆逐のおそれがある。河川敷や放棄畑などで優占群落を形成している。
46	アヤメ	キショウブ	<i>Iris pseudoacorus</i> L.	Y		要注意																											繁殖力が強く、海外では水路等の雑草になっており、日本でも水辺の在来種と競争・駆逐のおそれがある。近縁種に絶滅危惧種が含まれ、それらの遺伝的攪乱のおそれがある。また、美しい花が親しまれ、観賞用に栽培されることが多いため、分布を拡大するおそれ大きい。
47	イネ	スズメノナギナタ	<i>Parapholis incurva</i> (L.) C.E.Hubb.	Y																													淡路島の成ヶ島に定着している。競争する植物がない空いたニッチで優占群落を形成しており、在来の海浜植物の生育立地を奪う可能性がある。

(維管束植物)- 影響は甚大であるが、駆除が困難なことから、やむを得ず対策の優先順位を低く設定したもの (優占群落を形成するなど生態系への悪影響は多大であるが、駆除にかかる労力が膨大であるため、対策の優先順位を下げ、Yとする種)

No	科名	和名	学名	ランク	定着 : 定着の怖れが高いもの	国の指定 状況 (特定外来生物) 要注意(要注意外来生物)	本県での影響										分布 : 古い記録、 不確実な情報、 可能性高いもの	影響を及ぼすフィールド						備考						
							生物多様性への影響			産業影響				人への影響				河川・水路(河川敷含む)	池沼・湖沼	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸		草地	森林	市街地			
Z	Y	注意種	生態系基盤の改変	農業への影響	林業への影響	漁業への影響	利水・治水障害	景観への影響	人への健康被害	人への直接被害	神戸・阪神	播磨東部	播磨西部	但馬	丹波	淡路	河川敷							池沼				水田	畑地	湿地
48	アブラナ	セイヨウカラシナ (カラシナ)	<i>Brassica juncea</i>	Y																										河川敷に大群落を形成し、在来の河川植生に大きな影響を与える。
49	タデ	シャクチリソバ	<i>Fagopyrum cymosum</i> Meisn.	Y																									河川敷で優占群落を形成し、在来植生に与える影響が大きい。	
50	キク	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.	Y		要注意																							河川敷、法面、放棄畑、荒地などで優占群落を形成し、在来植物との競合や駆逐のおそれが大きい。	
51	キク	オオオナモミ	<i>Xanthium canadense</i> L.	Y		要注意																							河川敷などの水辺近くに侵入し、その場所に固有な在来種への競合・駆逐のおそれがある。牧草地に侵入すると家畜に有毒であり、総苞の付着による羊毛の品質低下も問題になっている。河川敷や湖岸などの水辺近くで優占群落を形成する。	
52	トチカガミ	コカナダモ	<i>Eloдея nuttallii</i> (Planch.) H. St.John	Y		要注意																							クロモ等の在来の水生植物と競合し駆逐している。輸入、流通、販売が行われていないので、規制による効果は小さいと考えられる。	
53	イネ	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i> L.	Y		要注意																							河川敷や法面・草地で優占群落形成する。	
54	イネ	ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i> L. subsp. <i>odoratum</i>	Y																									県下の河川で多数確認されている。道路や河川法面で優占し、花粉症の原因にもなっている。	
55	イネ	モウソウチク	<i>Phyllostachis pubescens</i> Mazel ex J.Houz.	Y																									植林や里山二次林に侵入し、他の在来植物を駆逐する。管理地での栽培は良いが、管理放棄の影響は多大である。	
56	イネ	セイバンモロコシ	<i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers.	Y																									河川敷や堤防法面で優占群落化し、在来植生に大きな影響を与える。	